

令和6年 第7回教育委員会（会議録）

令和6年7月17日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 研修室

日程第1 開会

※教育長が開会を宣言する。

出席委員確認

	教育委員	金武 千秋
		古田 博英
		兼松 悟
		原口 かおり
	教育長	三品 芳則
教育委員会事務局	教育課長	堀部 芳章
	こども課長	岩井 正義
	教育課主幹	前田 加代子

日程第2 前回教育委員会の確認

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第3 教育長、教育委員報告事項

- 教育長 6月26日の可茂地区教育長会での可茂教育事務所長の話がありました。学校は校長で決まると言われ、校長のスローガンがあらゆる活動の原動力となる。小中学校の連携が重要と言われるが、連携はとれているか？教師レベルの連携だけで終わっていないか？と言ってみえました。坂祝においても小中の連携をこれからも取り組んでいきたいと思います。また、いじめや暴力件数が昨年度と比較しても激増しているということで、それについても注視していきたいと思います。激増といっても可茂地区でのことで、坂祝小中学校で激増しているということではありません。
- 7月4日に可茂地区教科用図書採択協議会が行われました。また後ほど報告しますのでご意見をよろしくお願いします。
- 7月5日に県の町村教育長会研修会が輪之内町であり、午前中は県教委からの行政説明、午後は白川村の実践発表と輪之内町内の視察がありました。白川村の義務教育学校における9年間の取り組みや異年齢間でこそ育つ人間力など、坂祝小中でも学ぶべきことがあると感じました。
- 古田教育委員 育児休暇についてですが、自分の子供も育児休暇を取得しましたが、一人は4ヵ月、一人は2週間でした。県内の市役所に務める30代の知り合いは1

週間と言っていました。制度的にはどこでも保証されているはずですが、4ヵ月取得した子供に聞いたところ人事部から何ヵ月取得するかを聞かれたそうです。そういう動きのない職場は取得しにくいのだと思います。現場として育児休暇の取得が苦しいのも分かりますが、今の人は昔とは意識が違い、そういう人は増えていくと思いますので、育児休暇が取りやすい環境にしていくことが必要だと思います。そうすれば、職員募集も増えるかもしれないし、職場の活性化にもつながるのではないかと思います。

教育長 教員にも制度はもちろんありますが、坂祝中学校で1年取得した教員があり、そこには補充がありました。年度途中から取得予定があってもその年度の4月1日から補充があると思います。今は教員不足ということもあり、数ヵ月取得してその間いなくなるより1年取得して補充があるほうが校長としても助かります。これからは1年取得する方が増えると思います。

古田教育委員 教員が数ヵ月抜けるところは退職された先生に入っていたらよかったかもしれません。

教育長 退職された管理職が管理職への再任用はありますが、管理職を退職された方が一般教諭に再任用することはなかなか難しいのが現状です。

兼松教育委員 先日坂祝保育園を参観しました。園長は保護者の相談に乗ったりカウンセリングのようなことをしたり、親の孤独さなどを理解してあげる立場にあるのだと思いました。自分は小学校に務めていたが、当時はあまり保育園などの努力を認知していませんでした。保育園、幼稚園、こども園やバンビーニの存在が重要になっていると思いました。

金武教育委員 子どもを育てることは大変なことなので、育児休暇はぜひ取得してほしいと思います。

保育園について、園長は様々な経験を積み、いろんな保護者を見て来た人なので、その意見を聞くことはとても重要だと思います。しかし、なかなか保護者が園長に気軽に声をかけるのも難しいかもしれないと思いました。

原口教育委員 企業では歳の離れた二人をペアで仕事をさせ、育児休暇をとっても一人がフォローできるような体制にしているところもあるようです。また、奥さんと旦那さんが交互に育児休暇を取得するなどもあるようです。

先月、東京の大手企業に行ってみました。ペーパーレスが進んでおり、社内にカフェがあり、景色がよく開放的な場所でパソコンのみで打合せをしました。セキュリティも厳しく、発行されたQRコードがないと社内に入れないなかったり、別の企業ではスマホのカメラ部分に専用のシールを貼らないと入れなかったりと、先進の技術を使っていることを感じました。

古田教育委員 自分の一人目の子が生まれたときに分娩に立会いましたが、とても感動しました。教員の方にも立会い分娩を経験してもらおうとよいと思いました。

教育長 せっかく教員になられてもすぐに辞めてしまう方もみえます。命の尊さを知ってもらうのはとても良いと思います。

日程第4 議事

(付議事件)

議案第29号 令和7年度使用教科用図書の採択について

※教育長が資料に基づいて報告をする。

金武教育委員 教科書がどのように選ばれているかの実態が分かりました。子どもの頃は教科書が選ばれていることも知りませんでした。どのような想いで採択されたのかを子どもたちに伝え、内容への思いが深まり、教科書を大事にしようとするのではないかと思います。

教育長 子どもたちには1年生のときなど、最初に教科書の説明をします。保護者に対しては説明の機会がないですが、9月1日以降に特定の場所にて公開されます。そのPRは必要かと思いました。

原口教育委員 先日教科書を見せて頂いたときに苦手な分野の教科書を見てみようと思い、古典を見てみましたが光村図書が入りこみやすいと思いました。誰もが分かる竹取物語を題材にしている、古典の入り口として良いと思いました。書道ではペン習字も載っていることに驚きました。昔の教科書は手本があり、それを見て書くだけでしたが、東京書籍は将来どのような場面でその文字を使うのかが書いてありました。数学についても東京書籍が分かり易く、関数などでも社会に出てどんな仕事でどこで使うのかが書いてあり、例えばディズニーランドの待ち時間の計算に使う関数など、実例もあり、良いと思いました。

教育長 小学校は学習の入り口、中学校は将来を見据えた学習というように作られていると思います。東京書籍の書写の教科書には左手に対応したものも載っていました。

古田教育委員 英語の教科書で、中学校の教科書に新出単語が載っているが、使ったことがない単語でも新出単語として載っていないことがありました。これは小学校と中学校で教科書の出版社が異なることが原因だと思います。教科書の使い方などは最初にやられるのでしょうか？

教育長 最初のオリエンテーションで行っていると思います。

兼松教育委員 最近の教科書は丁寧に作られていると思いました。二次元コードを読み込むと小学校の復習が出来るようになっていました。また、導入、深める、まとめる、発信する、という順序立てで構成されていました。戦争と平和ではパレスチナや竹島、北方領土などが書かれていました。基本的人権ではハンセン病を取り扱っていました。歴史では渋沢栄一が書かれており、

社会ではAIを使った農業も書かれていました。教科書も以前と比べて変わってきたということを感じました。12÷3を解くにしても、12を3等分すると4という考えと、12の中に3は4つあるという考えがあり、指導書も活用してうまく教えてほしいと思います。

教育長 様々のご意見ありがとうございました。教科書にも1年ごとではなく、3年間で上下2巻で構成されているものもあります。先日の教育長会の中で6年度と7年度で教科書が変わったとき、上巻の途中までしか学習していないのに変わってしまうことが起きるがどうしたらよいかとの意見があり、確認したところ、上巻が終わるまでは前の教科書を使っても良いとのことでした。未履修の部分が出ないような配慮を行っています。では、採決をとります。議案第29号について、承認することに異議はありませんでしょうか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認めます。

議案第30号 坂祝町教育委員会の点検評価について

※教育課主幹が資料に基づいて報告をする。

兼松教育委員 教育委員会会議の公開の工夫の項目で、過去に会議を見に来たのは町内の議員1名だけだったと思います。評価については1年度ごとに比較して分かり易いです。文化財の項目でA評価となっているのは郷土資料館のリニューアルに伴う活動が大きいことが分かりました。放課後子ども教室の利用者は増えていますか？

こども課長 利用者は増えています。

兼松教育委員 指導者が10人から14人に増えたのですか？

こども課長 人数は変わっていませんが、シフトを工夫して対応しています。

教育長 その他よろしいでしょうか。

では採決をとります。議案第30号について、承認することに異議はありませんでしょうか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認めます。

議案第31号 坂祝町いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱について

※教育課主幹が資料に基づいて報告をする。

教育長 議案第31号について、承認することに異議はありませんでしょうか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認めます。

(報告事件)

報告第29号 坂祝町教育委員会後援名義の使用許可について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第5 その他

当面する教育関係諸行事について

その他

日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前11時10分